

第 30 回宮城県放射線技師会総合学術大会開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から本会の事業に対しまして、ご理解とご支援を賜り心から感謝を申し上げる次第でございます。

さて、昨年は、コロナウィルス感染対策のため、web 開催しました学術大会を、本年度は、コロナウィルス感染対策を十分に実施し、例年どおり対面型にて開催する予定です。

ここ数年県内で発表する機会がなかった一般演題と業務拡大の告示研修がはじまり、新生涯教育システムがスタートしたことから、これらに関する教育内容を中心に行います。また、東北地方ではじめて、新たなハイブリッド装置である MRI ガイド下の集束超音波治療装置が導入されたことから、教育講演を国立病院機構宮城病院の仁村太郎先生に行っていただきます。「ふるえ」に関する脳機能画像の内容を中心に、本態性振戦の治療や治療計画に用いる MRI のトラクトグラフィ画像など、脳機能の基礎から学べる貴重な機会となります。

ご多忙中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

尚、コロナウィルス感染拡大状況により、開催方法や開催内容に一部変更が生じる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

記

開催日時 : 令和 4 年 12 月 17 日 (土) 10:00~15:30 (受付開始 9:30)
会場 : 仙台サンプラザ 宮城野
参加費 : 会員 500 円 非会員 1000 円 学生 無料

プログラム

総合司会 広南病院 千葉 朋浩

10:00~10:10 開会挨拶 閉会挨拶 宮城県放射線技師会副会長 八島 幸子

10:10~10:40 座長 宮城県立がんセンター 小山 洋

「サブスクリプション時代における 3D ワークステーションの立ち位置」

テラリコン・インコーポレイテッド 行方 正紀

10:40 ~ 11:50 一般演題

座長 坂総合病院 田中 由紀

石巻赤十字病院 山内 祐一

1. 「肝動注化学療法における術者被ばく低減法の検討」

仙台厚生病院 守屋 亮太郎

2. 「血管撮影装置の機器更新による患者及び術者の被ばく線量の検証」

JCHO 仙台病院 放射線部 鈴木敏志

3. 「放射線治療管理業務の Digital Transformation へ向けた基礎的検討」

- 治療計画パラメータ確認および照射記録シート作成のデジタル化 -

4. 「サイバーセキュリティ対策-急増しているランサムウェアに備えて」 -

東日本電信電話株式会社 丸山 祥佳

5. 「告示研修アンケート状況について」

学術部 仙台厚生病院 佐藤 丈洋

6. 「集束超音波治療におけるDTIの活用法」

国立病院機構宮城病院 北澤 徹也

7. 「医師から学ぶ手術支援を目的とした3D画像作成のポイント ～ 胃がん術前 ～」

宮城県立がんセンター 遠藤 武蔵

12:00 ～ 13:00 ランチョンセミナー (シーメンスヘルスケア共催)

座長 仙台厚生病院 阿部 美津也

1. 「シーメンスヘルスケアの医療デジタルソリューションのご紹介(仮)」

シーメンスヘルスケア株式会社 デジタル&オートメーション事業部 岡部 萌子

2. 「アジアで2台目のPhoton-counting CTを使用してみよう」

メディカルスキニング東京 マネージャー 中嶋 直人

13:10 ～ 14:00 シンポジウム 「生涯教育について」

座長 東北大学 坂本 博

東北医科薬科大学若林病院 伊藤 道明

1. 告示研修について

宮城県立こども病院 佐々木 正臣

2. 画像等手術支援認定更新について

国立病院機構宮城病院 立石 敏樹

14:10 ～ 15:10 座長 東北大学病院 永坂 竜男

教育講演 「ふるえの診断と治療」

～MRIガイド下集束超音波治療を中心に～

国立病院機構宮城病院 脳外科部長 仁村 太郎 先生

15:10～15:20 閉会挨拶 宮城県放射線技師会会長 坂本 博

以上